



頭書

增補和歌題林抄

九 雜



增補和身題林抄之三 雜記目錄

曉十四 同曉 朝廿 曙 夕日

溪夕 幽夕 夕幽思 夜日 老人夜長

山三 曉山 夕山 香山 秀山管

深山泉 深山幽 為山池 遊山長

名山 海外山 山教水 隱士出山

巖九 溪嶺 谷水音 藤名 山路日

山以 仙十 泉日 墨藤 墨藤

林十 林十 常林宿 杜十 杜樹

杜柏 杜秋 野原十 野亭 野竹

夜宿亭 野外亭 野藤 野眺亭 海十

海路 海上曉雲 海意夕 牙海日 湖十

〇社

・社の下凡・一の下ま・一の下
 ・一の下の凡・一の下のま・一の
 ・一の下の凡・一の下のま・一の
 ・一の下の凡・一の下のま・一の

のりいしやーにがらうーてしむらりのみは
 あまこあれはよりさいゆんこころと
 じりー

十社

〇名所
 ・一の下の凡・一の下のま・一の
 ・一の下の凡・一の下のま・一の
 ・一の下の凡・一の下のま・一の

かかあしきの社れーたまおりあし
 約とすさういひのりか人もか
 杜樹

杜樹

杜樹

は柏原院

・一の下の凡・一の下のま・一の
 ・一の下の凡・一の下のま・一の
 ・一の下の凡・一の下のま・一の

いつあもふふは流る松枝乃
 杜柏

・一の下の凡・一の下のま・一の
 ・一の下の凡・一の下のま・一の
 ・一の下の凡・一の下のま・一の

かしく本れおらかふとおのををを
 杜松

杜松

師意

・一の下の凡・一の下のま・一の
 ・一の下の凡・一の下のま・一の
 ・一の下の凡・一の下のま・一の

やーつあもふふは流る松枝乃
 うさありぬら松枝の一しり

〇野

・一の下の凡・一の下のま・一の
 ・一の下の凡・一の下のま・一の
 ・一の下の凡・一の下のま・一の

野原

・一の下の凡・一の下のま・一の
 ・一の下の凡・一の下のま・一の
 ・一の下の凡・一の下のま・一の

野とあしきのりてしむらりのみは
 せらあそびうしうびぬんこころと
 松原れそむひなりさいゆんこころと
 あのりうとあらんおのあまあーひだ
 だあのおどりうのくあひさう時か
 あれさうとらあさああ
 野原とらあおのみらなりおら
 よありの野原とらあああああああ
 だれどあかうとあああああああ
 あんあああああああああああ

漢の...
○名西

漢の...
○名西

漢の...
漢中漢

漢の...
十六漢

漢の...
○名西

漢の...
漢中漢

○ 傍林下之
いづれの他が
いづれの他が

他類

師意

いづれの他が
いづれの他が
いづれの他が
いづれの他が

○ 傍

○ 傍
いづれの他が
いづれの他が
いづれの他が
いづれの他が

いづれの他が
いづれの他が
いづれの他が
いづれの他が
いづれの他が
いづれの他が
いづれの他が
いづれの他が

○ 傍

○ 傍
いづれの他が
いづれの他が
いづれの他が
いづれの他が

いづれの他が
いづれの他が
いづれの他が
いづれの他が
いづれの他が
いづれの他が
いづれの他が
いづれの他が

○ 傍

○ 傍
いづれの他が
いづれの他が
いづれの他が
いづれの他が

いづれの他が
いづれの他が
いづれの他が
いづれの他が
いづれの他が
いづれの他が
いづれの他が
いづれの他が

○ 傍

○ 傍
いづれの他が
いづれの他が
いづれの他が
いづれの他が

いづれの他が
いづれの他が
いづれの他が
いづれの他が
いづれの他が
いづれの他が
いづれの他が
いづれの他が

